

平成30年度入学生用カリキュラムマップ

【生活環境学研究科 建築学専攻 博士後期課程】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号			
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目			
					A. 高い知性	B. 善美な情操	C. 高雅な特性	D. 高い知性、善美な情操、 高雅な特性の総合
18DARC1201	研究指導 I	1	修士課程よりさらにレベルアップした理論的かつ実践的な研究指導を受けることにより、建築学に関する高度で幅広い学識を学ぶとともに、社会において指導的な役割を担う建築家、研究者、教育者となるために必要な基礎的能力を培うことを目的とする。	「真」「善」「美」を兼ね備え、建築学における高度で幅広い学識をもち、社会において指導的な役割を担う高度知的専門職能人となるために必要な基礎的研究能力を培う。	◎	◎	◎	◎
18DARC1202	研究指導 II	1	理論的かつ実践的な研究指導を受けることにより、建築学に関するより高度で幅広い学識を学ぶとともに、社会において指導的な役割を担う建築家、研究者、教育者となるために必要な実践的能力を培うことを目的とする。	「真」「善」「美」を兼ね備え、建築学における高度で幅広い学識をもち、社会において指導的な役割を担う高度知的専門職能人となるために必要な実践的研究能力を培う。	◎	◎	◎	◎
18DARC2201	研究指導 III	2	理論的かつ実践的な研究指導を受けることにより、建築学に関する高度で幅広い学識をより深めるとともに、社会において指導的な役割を担う建築家、研究者、教育者となるために必要な実践的能力を培うことを目的とする。	「真」「善」「美」を兼ね備え、建築学における高度で幅広い学識を深め、社会において指導的な役割を担う高度知的専門職能人となるために必要な実践的研究能力を培う。	◎	◎	◎	◎
18DARC2202	研究指導 IV	2	理論的かつ実践的な研究指導を受けることにより、建築学に関する高度で幅広い学識をより深めるとともに、社会において指導的な役割を担う建築家、研究者、教育者となるために必要な実践的能力を向上させることを目的とする。	「真」「善」「美」を兼ね備え、建築学における高度で幅広い学識を深め、社会において指導的な役割を担う高度知的専門職能人となるために必要な実践的研究能力を向上させる。	◎	◎	◎	◎
18DARC3201	研究指導 V	3	理論的かつ実践的な研究指導を受けることにより、建築学に関する高度で幅広い学識を十分に有し、社会において指導的な役割を担う建築家、研究者、教育者となるために必要な実践的能力を向上させることを目的とする。	「真」「善」「美」を兼ね備え、建築学における高度で幅広い学識を十分に有し、社会において指導的な役割を担う高度知的専門職能人となるために必要な実践的研究能力を向上させる。	◎	◎	◎	◎
18DARC3202	研究指導 VI	3	理論的かつ実践的な研究指導を受けることにより、建築学に関する高度で幅広い学識を十分に有し、社会において指導的な役割を担う建築家、研究者、教育者となるために必要な実践的能力を修得することを目的とする。	「真」「善」「美」を兼ね備え、建築学における高度で幅広い学識を十分に有し、社会において指導的な役割を担う高度知的専門職能人となるために必要な実践的研究能力を修得する。	◎	◎	◎	◎
18DARC1203	先端建築学演習	1	建築学および建築学に関連する諸分野における先端的な研究内容や研究課題を理解するとともに、研究手法および学会発表、論文執筆の能力を身につけることを目的とする。	先端的な研究課題を見出し、適当な研究手法を選択して研究を行う能力、および学会発表、論文執筆の能力を身につける。	◎	○	○	○